

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	守口市立わかかさ・わかすぎ園	公表日	令和 7 年 4 月 30 日
------	----------------	-----	-----------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	18	0	・訓練が重なる時は部屋の調整を行っている。 ・療育内容に応じて空いている部屋を使う等、場所を設定している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	9	・その日の体制をわかりやすく提示し、休みが出来るだけ重ならないように調整を行っている。 ・業務内容を調整し、園内で応援体制をとっている。	・欠員が生じている。 ・産休代替えなしで欠員。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	18	2	・パーティションを使用したり、空いている部屋を活用するなど環境を踏まえた上で対応している。 ・各自がわかりやすい視覚支援を行うなど個別に配慮しながら支援を行っている。	・クールダウン出来る小さな小部屋があると良い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	18	1	・療育前に危険物はないか、清潔に保たれているか等のチェックを必ず行っている。 ・親子クラスは日数に合わせて曜日等を決め、人数の調整を行っている。	・照明のつかない所は改善の必要がある。 ・親子クラスの部屋は大人が多くなるので調整が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	21	0	・その時使用していない部屋や空いている部屋を確認し子どもの状況に応じて活用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	18	1	・全体での会議等で投げかけ、職員間で共有、改善を進める。	・意欲的に参加するには、会議などで意見交換などを活発に行い職員1人1人の意識づけが必要。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	21	0	・保護者の意向を把握し、業務改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	6	・個々と面談をする機会を持ち意見等の把握を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	17	3	・第三者による評価を行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	18	0	・園内における専門職等の研修や時間の幅を設けて色々な研修の場を提供し機会を広げている。	・それぞれの知識に合わせた研修を行う等1人1人がわかりやすく、知識や支援の向上につながる研修の開催が必要。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	21	0	・現在、ホームページで公表している。	・園内に掲示するなど、わかりやすく知らせていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	21	0	・一人一人の性格や特性を日頃から観察する。	・今後も専門職も交えながら、多角的に分析していく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	19	2	・ケース検討や行動観察等、職員間で共通理解が持てるように考える場や機会を持っている。	・共通理解に達していない人もいる。理解しようとしていない。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	21	0	・児童発達支援計画作成時は必ず担任間で話し合いの場を設け、計画の策定に携わり共有を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	20	1		・クラスだけでなくいろいろな職員が行動観察をとり適切な支援を提供する。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	21	0	・懇談等で保護者と子どもの姿や支援について共有する。 ・ガイドラインにそって、確認しながら支援内容を設定している。また、複数での確認も行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	20	1	・クラス担任全員で、個々の姿を確認する時間をとった上で、活動プログラムを立案している。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	20	1	・他のクラスの活動内容や他の療育者の意見等を取り入れるようにしている。	・研修などを通して、それぞれの知識を深め、いろいろなアイデアを出し合える土台作りを行う。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	21	1	・個々に応じた課題を準備している。	・相違の無いように、子供の状況をクラス内で共有し取り組む。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	20	1	・打合せすることにより共通認識が持て、アドバイスし合える。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	19	2	・振り返りによって気付きが増えるので、していく必要があり行っている。	・クラスによって違いがある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	21	0	・クラスごとに毎日の日誌を記載し、その中に個別の記録を付けている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	21	0	・3か月ごとに保護者と懇談を行い、確認、見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	19	1	・対象児の担任等そのこどもと、家庭環境をより深く理解した者が参画するようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	18	2	・関係機関と必要に応じ会議等を設け、情報交換や支援体制をどのように整えていくか等話し合いを行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	21	0	・リハビリのカンファレンスで情報共有を行っている。また子どもの姿、支援方法の見学等の情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	20	1	・就学時は移行支援として支援内容や子どもの姿等の引継ぎを行い、情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	16	5	・事業所交流会を開催、そして児童通所事業所連絡会を行う中で地域内の連携をとるようにしている。 ・様々な機関を交えての研修会を行う中で、事例検討を行う機会を持つなどして地域全体の向上を目指している。	・今後も園内研修などに、地域の事業所にも幅広く参加してもらおう。 ・スーパーバイズコンサルテーション事業の周知を進める。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	21	0	・園内で専門職による研修の機会を持つと共に、リハビリのカンファレンスで助言を受けられる事が出来ている。又外部研修の情報を伝える等して研修の参加を行っている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	15	6	・自立支援協議会及び専門部会に参加している。オブザーバーとして参加している専門部会もある。	・園内での周知や報告を十分に行い内容を職員間で共有する。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	16		・コロナ以降難しくなっており、再開出来ない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	21	0	・保護者と電話や懇談、連絡ノート等を活用し子どもの姿や発達の状況等確認し、共有している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	7	・家庭プログラムや保護者教室で保護者の対応力向上の支援を行っている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	19	1	・契約時、重要事項説明書で説明を行っている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	19	2	・利用計画記載のこどもや家族の意向を確認の上、懇談時にも家族等の思いもアセスメントし確認を行っている。	・こどもの思いをしっかりと受け止め、こどもの思いを尊重する	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	21	0	・懇談の際は必ず「児童発達支援計画」を提示して計画の内容の同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	21	0	・保護者と連絡を取り合い、現状把握及び相談等の対応をしている。	・日ごろから保護者との信頼関係をしっかりと構築し、相談しやすい関係を作る。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	20	0	・休日参観や夏祭り時に兄弟の参加をしてもらい、交流する機会を設けている。	・兄弟同士の交流はない。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	21	0	・保護者の相談にはその都度迅速に対応している。 ・懇談等で現状を把握し、助言等の支援もを行っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	21	0	・予定表やクラス便り、クラスの活動内容等マチコミを利用して配信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	21	0	・個人情報になる書類は施錠出来る場所に保管したり保管方法に注意し取り扱っている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	21	0	・子どもの姿や保護者に応じて、書面で伝える等伝達の方法を考慮して対応している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	9		・コロナ以降、難しく再開出来ていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	21	0	・それぞれにマニュアルを策定し、職員に周知し発生を想定した訓練を実施している。保護者には緊急時対応マニュアルの配布を行う。 ・今後職員が受けた研修も保護者に周知していく。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	19	2	・BCPを策定し、災害に備え定期的に避難や救出の訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	21	0	・看護師、職員間で情報を共有している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	21	0	・食物アレルギーのある場合は医師の指示書を保護者から提出してもらい、それに基づいて対応を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	19	2	・安全計画を作成し、必要な措置を行った上で研修や訓練を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	19	2	・総合避難訓練等の訓練を知らせ、避難時に対応出来る連絡カードを作成すると共に災害時の対応を周知する。	・他の施設への避難訓練が必要である。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	21	0	・ヒヤリハットがあった場合は、その日の終礼時に職員内で報告し、再発防止の為の情報共有を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	20	1	・虐待防止委員会を設置の上、職員に適切な対応等の研修を確保している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	19	2	・今後、実施予定。	・事例なく、出来ていない。	